

令和3年度 事業報告

I 概要.....

令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が猛威を振るったものの、ワクチン接種などの対策が功を奏し、9月末をもって緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置はすべて解除された。しかしながら、新たな変異株による感染者が急増するなど、予断を許さない状況は続いている。

当センターにおいては、社会経済活動の再開にあわせ、昨年度実施できなかった清掃ボランティアや毛筆教室・パソコン教室といった自主事業を再開することができた。また、令和2年度に大きく落ち込んだ契約実績は、公共事業・民間事業ともに増大し、契約金額（請負分）が令和2年度に比べ14.7%の増と回復に向かっている。しかしながら、感染症の影響をほぼ受けなかった令和元年度や平成30年度の実績には届かない結果となった。

会員数、特に正会員数については、企業の定年延長や継続雇用制度の浸透に加え、感染症の影響も受け、平成30年度を境に減少傾向が続いていたものの、令和3年度末は669人と前年度を8人上回る結果となった

こうした事業実績のほか、令和3年度は、当センターが創立40周年を迎えたことを祝し、記念誌「40年のあゆみ」を編纂するとともに、第3次中期計画（平成29年度～令和3年度）の最終年度となったことから、新たに第4次中期計画を策定したところである。

今後は、関係各位のご理解・ご協力をいただきながら、本計画に基づき着実な事業展開を図っていく。

II 事業実施内容.....

1. 就業機会の積極的な確保と提供（定款第4条第1項第1号）

(1) 就業会員増強活動の推進

① 中央区広報紙等への掲載

会員の募集記事を「区のおしらせ ちゅうおう」に4回、「集合ポスター」に1回掲載するとともに、ホームページなどにより積極的な会員募集を行った。

② 「個別就業相談会」の実施

会員対象の「個別就業相談会」を月曜日（第1月曜日を除く）に実施した。

・参加者数：29名

③ 入会説明会の実施

毎月13日に予約制で実施している入会説明会において、入会の勧奨を行った。

④ その他

センター主催の各種講座に際し、受講者に対してセンターの事業を紹介するとともに、地域において会員の口コミによる入会の勧奨を行った。

(2) 会員の状況調べ

① 会員の入退会

区 分	正会員	賛助会員	特別会員	合 計
令和2年度末	661	39	2	702
入 会	97	1	1	99
退 会	89	4	1	94
除 名	0	0	0	0
令和3年度末	669	36	2	707

② 正会員の異動

() は前年度

区 分	正会員		内 訳			
			男 性	女 性		
令和2年度末	661	(662)	320	(319)	341	(343)
入 会	97	(83)	43	(40)	54	(43)
退 会	89	(84)	44	(39)	45	(45)
除 名	0	(0)	0	(0)	0	(0)
令和3年度末	669		319		350	

③ 正会員年齢別登録状況

() は前年度

年齢	男性		女性		合計	
60歳未満	0	(0)	0	(0)	0	(0)
60～64歳	10	(7)	31	(26)	41	(33)
65～69歳	52	(53)	59	(57)	111	(110)
70～74歳	123	(130)	127	(125)	250	(255)
75～79歳	87	(79)	99	(98)	186	(177)
80歳以上	47	(51)	34	(35)	81	(86)
合計	319	(320)	350	(341)	669	(661)
平均年齢	74.5歳	(74.3歳)	73.4歳	(73.3歳)	73.9歳	(73.8歳)
最高年齢	92歳	(92歳)	87歳	(86歳)	—	

④ 正会員入会理由

() は前年度

性別	生きがい 社会参加	仲間 作り	時間的 余裕	健康維持 増進	経済的	その他	合計
男	13 (12)	1 (3)	14 (7)	5 (6)	10 (12)	0 (0)	43 (40)
女	18 (14)	2 (2)	16 (11)	6 (2)	11 (12)	1 (2)	54 (43)
合計	31 (26)	3 (5)	30 (18)	11 (8)	21 (24)	1 (2)	97 (83)

⑤ 正会員退会理由

() は前年度

性別	病気 加齢	就職	死亡	転居	就業 機会 なし	会費 未納	運営に 不満	その他	合計
男	16 (16)	0 (8)	5 (4)	8 (5)	2 (2)	7 (0)	0 (0)	6 (4)	44 (39)
女	14 (15)	5 (4)	0 (2)	10 (7)	4 (6)	3 (0)	0 (0)	9 (11)	45 (45)
合計	30 (31)	5 (12)	5 (6)	18 (12)	6 (8)	10 (0)	0 (0)	15 (15)	89 (84)

(3) 就業開拓の方法

① 民間受注の拡大

就業専門員の設置により区内の企業・家庭等からの発注相談に継続的に応じ、民間受注の拡大を図った。

・民間の発注照会に係る受注成約 : 536件

② 就業提供の方法

未就業会員のリストを毎月出力し、その活用により未就業会員の減少を図るとともに、「個別就業相談会」を第1月曜日を除く月曜日に開催し、会員の就業率の向上に努めた。

③ 独自事業の実施

会員の就業機会を拡大するため、「毛筆教室」、「パソコン教室」を区民等を対象とした講習会として実施したほか、次のとおり「包丁研ぎ事業」を実施した。

- ・日 程 : 第2・第4月曜日締切、金曜日渡し
- ・費 用 : 一本500円
- ・実 績 : 143本

④ 関係団体との連携

民間事業所、一般家庭、官公庁等に高齢者の就業についての理解を求めるため、各種団体との連携を密にし、また各種会合等あらゆる機会を捉えてシルバー事業をPRした。

- ・中央区高齢者合同就職面接会の共催
- ・シニア生涯ワーキングセミナーの共催
- ・これからシルバー応援フェスタへの参加

(4) 中央区からの受託事業

区から受託している次の事業については、区と連携を密にし、受注機会の拡大を図る。

- ・暮らしの困りごとサポート
- ・介護予防・日常生活支援総合事業

(5) シルバー人材センター労働者派遣事業の実施

平成30年度から受注を開始している労働者派遣事業については、今後も就業会員の意向を踏まえながら機会を捉えて、受注に努めた。

(6) 適正な請負の推進

東京労働局や東京しごと財団の指導を受けながら、適正な請負に努めた。

(7) 就業提供実績

① 請負

ア 受託件数

件数	前年度比
3,452 件	571 件、19.8%の増

イ 就業実人員

人数	前年度比
536 人	44 人、8.9%の増

ウ 事業計画との比較

	計画	実績	計画比
受託件数	月 300 件	月 287 件	13 件、4.3%の減
就業実人員	570 人	536 人	34 人、6%の減

エ 契約金額

契約金額	前年度比
253,505,700 円	32,398,748 円、14.7%の増

うち企業等の契約額	前年度比
95,448,119 円	14,184,821 円、17.5%の増

オ 配分金

配分金	前年度比
230,141,119 円	26,756,164 円、13.2%の増

カ 会員就業率

会員就業率	前年度比
80.1%	74.4%から 5.7 ポイントの増

キ 年齢別会員就業状況

() は前年度

年齢	男性		女性		合計	
60歳未満	0	(0)	0	(0)	0	(0)
60～64歳	9	(5)	22	(18)	31	(23)
65～69歳	37	(34)	47	(42)	84	(76)
70～74歳	96	(95)	105	(98)	201	(193)
75～79歳	75	(64)	81	(78)	156	(142)
80歳以上	36	(33)	28	(25)	64	(58)
合計	253	(231)	283	(261)	536	(492)
平均年齢	74.8歳	(74.3歳)	74.3歳	(73.8歳)	74.5歳	(74.1歳)
最高年齢	88歳	(87歳)	87歳	(85歳)	—	

ク 就業実績

() は前年度

区分 発注者	契約 件数	受託 件数	就 業 実人員	就業延人員 (人日)	契 約 金 額 (円)			
					配分金	材料費	事務費	合計
公 共 事 業	113 (102)	473 (423)		24,892 (22,259)	133,951,314 (121,875,906)	3,929,197 (3,664,521)	12,140,049 (8,486,953)	150,020,560 (134,027,380)
民 間 事 業	小 計	760 (635)	2,950 (2,439)	28,150 (24,615)	95,529,944 (81,103,615)	488,486 (297,347)	6,526,030 (5,136,630)	102,544,460 (86,537,592)
	企 業 等	330 (277)	1,945 (1,702)	25,467 (22,663)	89,041,909 (76,282,633)	476,438 (279,247)	5,929,772 (4,701,418)	95,448,119 (81,263,298)
	家 庭	430 (358)	1005 (737)	2,683 (1,952)	6,488,035 (4,820,982)	12,048 (18,100)	596,258 (435,212)	7,096,341 (5,274,294)
独 自 事 業	4 (4)	29 (19)		188 (117)	659,861 (405,434)	186,698 (6,341)	94,121 (130,205)	940,680 (541,980)
合 計	877 (741)	3,452 (2,881)	536 (492)	53,230 (46,991)	230,141,119 (203,384,955)	4,604,381 (3,968,209)	18,760,200 (13,753,788)	253,505,700 (221,106,952)

ケ 職群別会員就業実績

() は前年度

区分 職群	公共事業		民間事業		独自事業		合計	
	延日 人員	配分金(円)	延日 人員	配分金(円)	延日 人員	配分金(円)	延日 人員	配分金(円)
技術	0 (0)	0 (0)	466 (519)	2,420,055 (2,678,844)	157 (91)	579,131 (345,854)	623 (610)	2,999,186 (3,024,698)
技能	1,422 (505)	2,759,013 (2,920,231)	163 (207)	880,410 (1,005,688)	31 (26)	80,730 (59,580)	616 (738)	3,720,153 (3,985,499)
事務 管理	2,470 (2,038)	10,616,676 (8,699,481)	3,982 (4,033)	16,687,833 (15,412,515)	0 (0)	0 (0)	6,452 (6,071)	27,304,509 (24,111,996)
管理	19,138 (17,733)	111,273,581 (103,780,181)	1,743 (1,739)	5,962,177 (5,983,362)	0 (0)	0 (0)	20,881 (19,472)	117,235,758 (109,763,543)
折衝 外交	0 (10)	0 (25,470)	299 (325)	1,437,784 (1,693,503)	0 (0)	0 (0)	299 (335)	1,437,784 (1,718,973)
軽 作業	387 (294)	2,323,546 (1,678,639)	17,407 (14,833)	56,725,716 (45,765,461)	0 (0)	0 (0)	17,794 (15,127)	59,049,262 (47,444,100)
サー ビス	2,475 (1,679)	6,978,498 (4,771,904)	4,090 (2,955)	11,415,969 (8,544,102)	0 (0)	0 (0)	6,565 (4,634)	18,394,467 (13,316,006)
その 他	0 (0)	0 (0)	0 (4)	0 (20,140)	0 (0)	0 (0)	0 (4)	0 (20,140)
合計	24,892 (22,259)	133,951,314 (121,875,906)	28,150 (24,615)	95,529,944 (81,103,615)	188 (117)	659,861 (405,434)	53,230 (46,991)	230,141,119 (203,384,955)

② 労働者派遣

シルバー人材センター労働者派遣事業の受注を行った。

() は前年度

区分 発注者	契約 件数	受託 件数	就業 実人員	就業延 日人員	契 約 金 額 (円)			センター受取 事務費
					賃金	事務費	合計	
民間 企業	3 (2)	22 (6)	5 (1)	395 (61)	2,483,279 (543,364)	766,227 (170,575)	3,249,506 (713,939)	359,876 (80,874)

2. 就業に必要な知識・技能を付与する講習等の実施（定款第4条第1項第2号）

（1）独自研修の実施

① 接遇マナー研修

質の高い接遇は、すべての仕事の根幹をなすものであるため、今年度も、シルバー人材センターの働き方と求められるマナーの現状に精通した講師を招き、就業を希望している全会員を対象に実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、事務局で作成した「接遇事例集」を全会員に配付した。

② 簡単きれいで好印象「化粧講座」

接遇や、みだしなみの一環として花王株の講師による化粧講座を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

③ 家事援助講習

家庭からの受注拡大に向け、会員対象の家事援助講習を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

（2）講習会の開催（独自事業として実施）

受講者に受講料・教材費の負担を求め会員が講師となって開講した。また、令和3年度から、中央区民カレッジとの連携講座とした。

① 毛筆教室（55歳以上の区民等を対象）

コース名	日程	年間回数	受講人数	内容
毛筆教室	10日	1回	16人	小筆を使い、書道の基本を指導

新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回を中止した。

② 毛筆写経教室（55歳以上の区民等を対象）

コース名	日程	年間回数	受講人数	内容
初心者向けコース	4日	2回	27人	写経の基礎を指導
経験者向けコース	4日	1回	8人	小筆使いに慣れている方を対象に指導

③ パソコン教室（60歳以上の区民等を対象）

コース名	日程		年間回数	受講人数	内容
はじめてのパソコン	3日		1回	8人	パソコンの操作から文字入力まで
Wordを使ってみよう	6日		3回	29人	ワード文書の装飾の仕方など
Excelを使ってみよう	6日		3回	29人	表計算や計算の仕方など
便利なインターネット	3日		2回	16人	インターネットの検索方法など
写真データのすっきり整理と活用	3日		3回	29人	写真データのパソコンでの整理・編集など
Wordで季節のはがき作り	6日		1回	9人	Wordを使ったはがきの作成や印刷など

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4回を中止した。

また、「写真データのすっきり整理と活用」について、受講希望者多数のため1回を追加実施した。

(3) 各種研修会への参加

① 中央区の研修・講習

- ・交通安全講習会.....（職員7名参加）

② 東京しごと財団の研修・講習

[役員対象]

- ・経営管理 —シルバール人材センターによるリスクマネジメントー.....（役員1名参加）
- ・新任理事研修.....（役員2名参加）

[会員対象]

- ・ハウスクリーニング.....（会員1名参加）
- ・パソコンインストラクター養成.....（会員1名参加）
- ・安全リーダー研修.....（安全管理委員1名参加）
- ・自転車安全利用講習会.....（安全管理委員1名参加）
- ・安全就業研修(健康管理の徹底編).....（安全支援員1名参加）

[職員対象]

- ・決算実務.....（職員1名 参加）
- ・人権、非行防止、個人情報保護.....（職員5名 参加）
- ・会員拡大・就業開拓担当者会議.....（職員7名・就業専門員4名 参加）
- ・適正就業のガイドラインについて.....（職員8名・就業専門員4名 参加）
- ・新任事務局長研修.....（職員1名 参加）
- ・公益法人会計の基礎及び中級.....（職員2名 参加）
- ・シルバー保険事故対応力向上研修.....（職員7名・就業専門員4名 参加）
- ・総会運営について～事前準備のポイント～.....（職員4名 参加）
- ・クレーム対応（ハードクレーム）研修.....（職員2名 参加）
- ・派遣実務検討会.....（職員1名 参加）
- ・リーダーシップ研修.....（職員1名 参加）
- ・課題改善研修.....（職員1名 参加）
- ・連合交付金の基礎.....（職員1名 参加）

③ 第2ブロック合同研修

役員及び職員を対象とする研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

[安全就業会員対象]

- ・安全就業会員研修.....（安全管理委員1名 参加）

④ 全国シルバー人材センター事業協会の研修等

[職員対象]

- ・適正就業担当者会議.....（職員8名・就業専門員4名 参加）
- ・会計・経理実務担当者会議.....（職員1名 参加）
- ・派遣元責任者研修.....（職員1名 参加）
- ・新任事務局長研修.....（職員1名 参加）

[会員・職員対象]

- ・シルボヌス全国大会 IN TOKYO 2021（職員2名・就業専門員1名 参加）

3. 生きがいの充実、社会参加を図るための社会奉仕活動（定款第4条第1項第3号）

（1）社会奉仕活動

① 区内駅周辺の清掃

年4回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、2回を中止した。

ア 実施日時及び参加人数

(ア) 令和3年12月18日(土)	午前11時から正午まで	91名
(イ) 令和4年3月24日(木)	午前11時から正午まで	80名

イ 実施場所

- (1)鍛冶橋通り・新大橋通り(八丁堀周辺)
- (2)新大橋通り(人形町・蛸殻町周辺)
- (3)清澄通り(月島駅・勝どき駅周辺)
- (4)晴海通り(勝どき駅周辺)

② ひとり暮らし高齢者等の見守り（中央区高齢者福祉課付帯事業）

区の「地域の見守りネットワーク」に参加しており、区からの委託事業である「暮らしの困りごとサポート」業務に従事した会員が、必要に応じて訪問先のひとり暮らし高齢者の見守り等を行った。

（2）マラソン祭りへのボランティア参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マラソン祭りの開催が中止となった。

（3）東京オリンピック・パラリンピック競技大会の個人ボランティア参加サポート

東京オリンピック・パラリンピックの都市ボランティア活動は中止となったため、個人でのボランティア活動参加の相談や問合せなどのサポートを行った。

4. 就業・社会奉仕活動に関する調査研究、相談及び企画運営（定款第4条第1項第4号）

（1）就業に関する調査研究

例月の理事会において、前月の事業実績を報告し、前年実績との比較のほか就業開拓情報の分析を行った。

（2）就業に関する相談

就業を検討している60歳以上の区民のために、毎月中旬に「入会説明会」を開催するとともに、新入会員に対する研修会を実施した。

また、センターの就業に関する資料（就業情報）を整備し、機関紙に同封するとともに、就業専門員を中心として、随時、センターにおいて面談あるいは未就業者に対する電話での相談や就業に関する資料に基づく就業相談を実施した。

・入会説明会参加者：105人（前年度 87人）

・参加後の入会者：97人（前年度 83人）

5. 普及啓発活動の推進（定款第4条第1項第5号）

シルバー人材センター事業を、地域社会に向けて広く宣伝することにより高年齢者の入会促進を図るとともに、理解と協力を求めて就業機会開拓の一助とするため、次の活動を実施した。

（1）インターネットの活用

センターのホームページを見やすくわかりやすいものにするため、常に内容の改善を図っている。また、随時、講座案内等の更新を行うとともに、「会員募集」「就業情報」の発信や、事業者等に対する受注促進のためのPRを行った。

さらに、センターの業務・財務等の情報を掲載し、ディスクロージャー（情報開示）を図っている。

(2) パンフレット・チラシの配布

パンフレットや各種リーフレットを常時、センター内の展示台に置き、来所者に配布するとともに、随時関係方面に配布して事業内容の周知に努めた。

また、中央区が開催している経営セミナー会場にチラシを置いてもらっている。

(3) 機関紙の発行・配布

機関紙「シルバーのあゆみ」について、広報委員会において当年度の発行方針を決定のうえ、会員間の交流促進や会員の意識の啓発等を図るため、年4回発行した。委員は、記事集めや編集作業を行った。併せて、センター活動への理解・協力を求めるため、中央区、東京しごと財団、都内58センター及び区内の町会・自治会や各種団体等の関係機関に送付した。

なお、126号については、新年のご挨拶及びPRとして発注者にも配布した。

- ・第123号（令和3年 4月30日発行）
- ・第124号（同 年 7月30日発行）
- ・第125号（同 年10月29日発行）
- ・第126号（令和4年 1月28日発行）

(4) 広告掲載

- ① 中央区高齢者クラブ連合会会報「やまびこ」に広告を掲載した。（年1回）
- ② 中央区が運行するコミュニティバス（愛称「江戸バス」）に、広告板の掲示と車内放送広告を実施した。
- ③ 江戸バス時刻表に広告を掲載した。
- ④ 中央区窓口封筒に広告を実施した。
- ⑤ 中央区内の郵便局10局において窓口封筒広告を実施した。

(5) 中央区広報紙への掲載

「区のおしらせ ちゅうおう」に、案内記事として、シルバー会員募集及び仕事の発注依頼をそれぞれ年2回掲載した。また、地域貢献の一環とも位置づけて実施している“高齢者向けパソコン教室”を年10回、“毛筆教室”を年5回それぞれ掲載した。

(6) 中央区の刊行物への掲載

区政年鑑、高齢者福祉事業のしおり、生涯学習情報誌、わたしの便利帳等中央区の刊行物にセンター事業の紹介及び講習の案内を掲載した。

(7) 統一広域広報（都内58シルバー人材センターとの同時開催）

他のシルバー人材センターとの共催イベント「令和3年度これからシルバー応援フェスタ」に参加し、パンフレットの配布や入会・仕事の相談等のPR活動を行った。

6. 安全就業活動の推進（定款第4条第1項第5号）

会員の安全就業を組織的に推進するため、安全管理委員会において「令和2年度安全対策実施計画」を策定した。

機関紙に季節に応じた安全就業意識の啓発記事を掲載するとともに、次のような活動を行い、積極的に安全就業の推進を図った。

(1) 安全管理委員会

安全就業推進のために、委員会としての活動について審議を行った。

- ・開催数：3回

(2) 安全就業パトロール

① 安全管理委員会のパトロール

[第1回]

- ・実施日：令和3年7月15日
- ・実施場所：徒渉池管理業務（月島第二児童公園・越前堀児童公園）

[第2回]

- ・実施日 : 令和4年1月12日
- ・実施場所 : 京橋地域自転車整理

② 東京しごと財団指導員によるパトロール

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止

(3) 熱中症対策講習

東京しごと財団安全対策講師による講話を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となった。

(4) 転倒予防講習

スポーツプログラマーの講師による、講話とストレッチ体操の講習会を実施した。

- ・実施日 : 令和3年11月24日
- ・実施場所 : 京華スクエア 体育館
- ・参加者数 : 20名

(5) 安全就業標語の募集

東京しごと財団が実施している令和4年度安全就業標語のセンター推薦作品の応募を、機関紙や交流広場で全会員に呼びかけ、安全管理委員会にて選考し、次の作品を推薦した。

【 テーマ1 】 交通事故防止

貴方が思うほど 車はあなたを 見ていない
良い人も 事故を起こせば 悪い人
歩道では 自転車よりも 人優先

【 テーマ2 】 過信・気のゆるみによる事故防止

何事も あわてあせらず ゆっくりと
その作業 自信があっても 再確認
慣れた仕事に落とし穴 手順を確かめ事故防止

(6) 事故報告

令和3年度は、シルバー総合保険の申請を行った傷害事故が8、賠償事故は2であった。安全管理委員会において事故の要因分析を行い、機関紙にて会員への周知及び注意喚起をした。

① 傷害事故

発生月	傷害事故の概要及び被害状況	
4月	広報ポスター撤去作業中にポスターを止めている針を抜く時に力を入れすぎてしまったため、針が目に飛び込んできた。	通院2日
6月	自転車整理の就業に向かうため、自転車に乗ろうとしたところハンドルが曲がっていたため、バランスを崩して転倒した。	通院1日
8月	センター行事に参加するため徒歩で自宅から向かっていたところ、歩道上で転倒した。	通院5日
8月	昼休みに休憩場所へ移動する際にタイルカーペットの床で躓いた。	通院10日
10月	就業中、食事をするためにそば屋に行き、店舗入口の段差を跨ごうとしたところ台風の影響による強風であおられ転倒した。	通院40日
11月	就業が終わり自宅に自転車で向かった際、道の反対側に渡ろうと道路を横断し歩道に乗り上げる時の進入角度が浅かったためスリップして転倒した。	通院中
11月	自転車整理就業に向かうため、自転車を運転していた際に歩道上の段差にぶつかり転倒した。	通院中

発生月	傷害事故の概要及び被害状況	
3月	就業先に自転車で向かっている際に車道と歩道の段差でスリッパ転倒した。	通院中

② 賠償事故

発生月	賠償事故の概要及び被害状況	
7月	マンション清掃請負先の管理人室の鍵を開けようとしたところ、鍵が根元から折れ、先端部分が鍵穴内部に残り開錠できなくなった。	
11月	木製セミダブルベッドを解体し、リビングから玄関に移動する際に玄関口の床に解体した一部が擦れたことで床に傷がついた。	

7. その他事業の目的を達成するために必要な活動（定款第4条第1項第5号）

(1) 公益社団法人としての適正運営への対応

① 「就業適正委員会」の開催

公益社団法人においては、センター運営における公平性・公正性が強く要請されるため、当センターにおいては、理事会の諮問機関として「就業適正委員会」を設置している。この委員会では、公平・公正な就業機会の提供を行うため、「就業の適正化・公平化に関する仕組み」に基づき、3カ月ルール適用及び長期就業職種に係る就業終了者の選定並びに令和4年度長期継続就業に係る新規就業希望者の面接・評定を行った。

② 就業の適正化・公平化の仕組みの適用状況

「就業の適正化・公平化の仕組み」に基づく、長期間就業の是正などルールを的確に運用した。

ア 令和3年度就業終了の状況

- ・長期間就業ルール（80歳又は5年以上）による終了者 : 35名
- ・その他（本人都合・受注終了）による終了者 : 17名

イ 継続的業務に係る新規就業申込み状況

- ・募集人数 : 43名
- ・面接受験者 : 74名（業務別延べ人数138名）
- ・内定者 : 40名

ウ 継続的業務に係る継続就業の申込状況

・前年度に引き続く同一業務への就業を希望した会員数 : 309名

③ 新規就業者合同説明会の開催

年度当初からの円滑な業務遂行を期するため、新規就業者を対象として3月に業務別に開催し、就業ルールの説明、仕事別グループリーダー等による各業務内容の説明を行った。

(2) 専門委員会活動

理事、会員から構成される「就業適正委員会」「広報委員会」を設置し、就業の公平化・適正の推進や機関紙の編集・発行を行った。

(3) 仕事別グループの設置

自主自立及び共働共助の理念に基づいて、会員が主体となって仕事を遂行できるよう「仕事別グループ」を設置し、リーダー・サブリーダーを委嘱している。

- ・グループ数 : 23グループ
- ・リーダー : 22名
- ・サブリーダー : 22名

(4) 会員の交流広場

会員同士の交流を促進するため、京華スクエア1階コミュニティールームにおいて、毎月初日及び2日目の就業報告書持参の機会を活用して「会員の交流広場」を開催した。その際、理事が交替で会場に詰め、会員から出された意見・要望をセンターの運営に反映させている。

- ・参加者数 : 延4,872名（令和2年度 延4,872名）

(5) 無料職業紹介事業「シルバーワーク中央」との連携

区民に適切な就業紹介を行うため、中央区社会福祉協議会が運営する高年齢者就業総合相談窓口と日常的に相互連携を図っている。

(6) 事務局長会・実務担当者会等への出席

〔東京しごと財団〕

- ・実務担当者会 : 2回

〔第2ブロック〕

- ・事務局長会 : 1回
- ・実務担当者連絡会 : 3回

(7) サークル活動への支援

会員相互の親交を図るとともに、会員の生きがいづくりにつなげることによりセンター活動の活発化に資するため、パソコンサークル、華道サークル、書道サークル及びつつじの会（カラオケ同好会）に会場提供などの支援を行った。

(8) カレンダーの作成・配布

就業予定の書き込みができる特注カレンダーを700部作製し、会員及び発注者など関係者に配布した。

8. 総会及び理事会の開催状況

開催月日	会議の名称	主な議決・承認事項
4月16日	第1回 理事会	<ul style="list-style-type: none">・会員入会承認及び退会報告の件・令和3年度定時会員総会招集の件・理事・監事任期満了に伴う取扱いの件・事業実施状況及びシルバーワーク中央事業実績（3月期分）の報告
5月19日	第2回 理事会	<ul style="list-style-type: none">・会員入会承認及び退会報告の件・令和3年度定時会員総会招集通知の件・令和3年度定時会員総会における議決権行使の件・定款の一部改正の件・監事の監査報告の件・令和2年度事業報告・計算書類の報告の件・理事選任の件・40周年記念表彰の基準の件

開催月日	会議の名称	主な議決・承認事項
5月19日	第2回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定時会員総会運営の件 ・ 40周年記念事業の件 ・ 第1回清掃ボランティア活動実施の件 ・ 新型コロナウイルスに係る緊急事態宣言に伴う影響の件 ・ 事業実施状況及びシルバーワーク中央事業実績（4月期分）の報告
6月25日	令和3年度 定期会員 総会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監事の監査報告の件 ・ 令和2年度事業報告の件 ・ 定款の一部改正の件 ・ 令和2年度計算書類等の報告の件 ・ 理事10名の選任の件 ・ 令和3年度事業計画・収支予算の件
	第3回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三役選任の件 ・ 令和2年度会費未納による会員資格喪失予定者の件 ・ 各種委員会委員の選任の件 ・ 地区別担当理事・班長の配置の件 ・ 創立40周年記念表彰の件
7月16日	第4回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員入会承認及び退会報告の件 ・ 事業実施状況及びシルバーワーク中央事業実績（5・6月期分）の報告 ・ 中央区健康福祉まつり2021の報告
9月16日	第5回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員入会承認及び退会報告の件 ・ 令和4年度予算（暫定案）の件 ・ 第4次中期計画策定の件 ・ 令和3年度接遇研修について ・ 事業実施状況及びシルバーワーク中央事業実績（7・8月期分）の報告 ・ 安全管理委員会巡回視察実施の報告 ・ 定款変更にかかる表記の誤謬について ・ 区のシルバー発注について（高齢者福祉課） ・ 東京都最低賃金の改定に伴う、請負金額、配分金の一部改定について ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会都市ボランティア参加状況について ・ インボイス制度への対応について
10月18日	第6回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員入会承認及び退会報告の件 ・ 事業実施状況及びシルバーワーク中央事業実績(9月期分)の報告 ・ 監事監査の報告 ・ 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

開催月日	会議の名称	主な議決・承認事項
11月17日	第7回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員入会承認及び退会報告の件 ・新年懇親会の件 ・第4次中期計画策定の件 ・事業実施状況及びシルバーワーク中央事業実績(10月期分)の報告 ・長期継続就業確認作業スケジュールの報告 ・これからシルバー応援フェスタの報告
12月16日	第8回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員入会承認及び退会報告の件 ・令和4年度長期継続就業に係る就業終了及び募集の件 ・事業実施状況及びシルバーワーク中央事業実績(11月期分)の報告
2月16日	第9回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員入会承認及び退会報告の件 ・事務室のレイアウト変更の件 ・事業実施状況及びシルバーワーク中央事業実績(12・1月期分)の ・令和4年度長期継続就業職種に係る申込状況の報告 ・第3回清掃ボランティア活動実施結果の報告 ・第4次中期計画の策定及び創立40周年記念誌の発行にかかるスケジュール
3月16日	第10回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員入会承認及び退会報告の件 ・規程等の改正・策定の件 ・令和4年度事業計画の件 ・令和4年度収支予算の件 ・令和4年度資金調達及び設備投資の見込みの件 ・令和4年度役員賠償責任保険加入の件 ・令和4年度交流広場実施要領の件 ・事業実施状況及びシルバーワーク中央事業実績(2月期分)の報告 ・令和4年度長期継続就業の新規就業会員決定の報告
3月30日	第11回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度補正予算の件 ・令和4年度仕事別リーダー・サブリーダー委嘱の件 ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 ・「シルバーのあゆみ」リニューアルのお知らせ

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目名	当年度	前年度	増減額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・普通預金	19,149,157	19,410,994	△ 261,837
未収金	32,477,581	25,873,152	6,604,429
貸倒引当金	△ 194,865	△ 154,164	△ 40,701
	32,282,716	25,718,988	6,563,728
流動資産合計	51,431,873	45,129,982	6,301,891
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	1,274,932	1,367,540	△ 92,608
減価償却引当資産	1,541,219	927,561	613,658
財政運営資金積立資産	10,000,000	10,000,000	0
周年記念行事積立資産	0	1,600,000	△ 1,600,000
特定資産合計	12,816,151	13,895,101	△ 1,078,950
(2) その他固定資産			
什器備品	2,600,430	2,600,430	0
減価償却累計額	△ 1,541,219	△ 927,561	△ 613,658
	1,059,211	1,672,869	△ 613,658
その他固定資産合計	1,059,211	1,672,869	△ 613,658
固定資産合計	13,875,362	15,567,970	△ 1,692,608
資産合計	65,307,235	60,697,952	4,609,283
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	25,642,414	21,204,409	4,438,005
前受金	11,270	60	11,210
預り金	1,538,898	1,670,945	△ 132,047
流動負債合計	27,192,582	22,875,414	4,317,168
2 固定負債			
退職給付引当金	1,274,932	1,367,540	△ 92,608
固定負債合計	1,274,932	1,367,540	△ 92,608
負債合計	28,467,514	24,242,954	4,224,560
III 正味財産の部			
一般正味財産	36,839,721	36,454,998	384,723
(うち特定資産への充当額)	(11,541,219)	(12,527,561)	(△ 986,342)
正味財産合計	36,839,721	36,454,998	384,723
負債及び正味財産合計	65,307,235	60,697,952	4,609,283

正味財産増減計算書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	253,505,700	221,106,952	32,398,748
受取配分金	230,141,119	203,384,955	26,756,164
受取材料費等	4,604,381	3,968,209	636,172
受取事務費	18,760,200	13,753,788	5,006,412
労働者派遣事業受託収益	359,876	80,874	279,002
派遣受託収益	359,876	80,874	279,002
受取会費	707,800	690,800	17,000
正会員受取会費	677,000	656,000	21,000
特別会員受取会費	2,000	2,000	0
賛助会員受取会費	28,800	32,800	△ 4,000
受取補助金等	63,249,583	51,578,677	11,670,906
受取区補助金	57,910,583	46,239,677	11,670,906
受取連合交付金	5,339,000	5,339,000	0
受取利息	376	1,550	△ 1,174
受取利息	376	1,550	△ 1,174
雑収益	20,815	210,467	△ 189,652
雑収益	20,815	210,467	△ 189,652
経常収益計	317,844,150	273,669,320	44,174,830
(2) 経常費用			
事業費	299,824,195	261,083,764	38,740,431
支払配分金	230,141,119	203,384,955	26,756,164
支払材料費	4,604,381	3,968,209	636,172
職員基本給	20,627,520	17,105,280	3,522,240
職員特別手当	8,418,098	7,649,366	768,732
職員諸手当	9,042,824	6,047,008	2,995,816
法定福利費	5,940,173	5,213,076	727,097
福利厚生費	236,954	253,243	△ 16,289
退職給付費用	1,489,728	1,272,096	217,632
会議費	213,586	171,918	41,668
旅費交通費	400,966	332,364	68,602
通信運搬費	1,088,207	1,087,399	808
減価償却費	613,658	613,658	0
消耗品費	779,853	931,162	△ 151,309
印刷製本費	2,358,994	893,354	1,465,640
燃料費	36,735	34,295	2,440
賃借料	2,086,933	2,099,656	△ 12,723
保険料	2,267,242	2,256,518	10,724
手数料	73,750	79,690	△ 5,940
諸謝金	4,784,100	3,682,300	1,101,800
委託費	4,237,921	3,710,498	527,423
租税公課	239,520	187,360	52,160
貸倒引当金繰入額	40,701	39,431	1,270
雑費	101,232	70,928	30,304

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減額
管理費	17,727,840	15,313,881	2,413,959
職員基本給	5,156,880	4,276,320	880,560
職員特別手当	2,104,524	1,912,342	192,182
職員諸手当	2,260,706	1,511,752	748,954
法定福利費	1,485,043	1,303,269	181,774
福利厚生費	59,239	63,311	△ 4,072
退職給付費用	372,432	318,024	54,408
会議費	23,580	21,014	2,566
臨時雇賃金	102,925	104,075	△ 1,150
旅費交通費	346,175	231,078	115,097
通信運搬費	748,269	735,114	13,155
消耗品費	703,520	450,780	252,740
印刷製本費	392,656	397,496	△ 4,840
賃借料	3,245,907	3,333,139	△ 87,232
保険料	51,408	49,652	1,756
手数料	18,438	19,923	△ 1,485
委託費	512,250	462,820	49,430
租税公課	13,580	1,040	12,540
支払負担金	105,000	105,000	0
雑費	25,308	17,732	7,576
經常費用計	317,552,035	276,397,645	41,154,390
当期經常増減額	292,115	△ 2,728,325	3,020,440
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
退職給付引当金戻入益	92,608	0	92,608
經常外収益計	92,608	0	92,608
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	92,608	0	92,608
当期一般正味財産増減額	384,723	△ 2,728,325	3,113,048
一般正味財産期首残高	36,454,998	39,183,323	△ 2,728,325
一般正味財産期末残高	36,839,721	36,454,998	384,723
Ⅱ 正味財産期末残高	36,839,721	36,454,998	384,723

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・定額法による減価償却を実施しております。

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・期末債権残高に一定率を乗じて算出した金額を計上しております。

退職給付引当金・・・期末退職給付の要支給額に相当する金額から中小企業退職金共済給付額を控除した額を計上しております。

(3) 消費税の会計処理は、税込方式によっております。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は次のとおりです。(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	1,367,540		92,608	1,274,932
減価償却引当資産	927,561	613,658	0	1,541,219
財政運営資金積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000
周年記念行事積立資産	1,600,000	0	1,600,000	0
合計	13,895,101	613,658	1,692,608	12,816,151

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
退職給付引当資産	1,274,932	—	—	(1,274,932)
減価償却引当資産	1,541,219	—	(1,541,219)	—
財政運営資金積立資産	10,000,000	—	(10,000,000)	—
周年記念行事積立資産	0	—	(0)	—
合計	12,816,151	—	(11,541,219)	(1,274,932)

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
連合交付金	(公財) 東京しごと財団	0	5,339,000	5,339,000	0	—
区補助金	中央区	0	57,910,583	57,910,583	0	—
合計		0	63,249,583	63,249,583	0	—

5 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

退職金規程にもとづく退職一時金制度を採用しております。

(2) 退職給付債務に関する事項

① 退職給付債務 1,274,932 円

② 退職給付引当金 1,274,932 円

(3) 退職給付費用に関する事項

① 中小企業退職金共済掛金 888,000 円

② 企業年金基金掛金 974,160 円

③ 退職給付費用 1,862,160 円

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の算定にあたり、簡便法を採用しており、退職給付に係る期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済給付額を除いた金額を退職給付引当金に計上しております。

附属明細書

1 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2に記載しております。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,367,540	0	0	92,608	1,274,932
貸倒引当金	154,164	40,701	0	0	194,865

(注) 退職給付引当金の当期減少額(その他)は退職給付引当金の戻入によるものです。

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手許現金	運転資金として	251,502
	預金	普通預金 みずほ銀行 東京都庁出張所	運転資金として	18,895,638
	預金	振替預金 ゆうちょ銀行 〇一九店	運転資金として	2,017
				19,149,157
	未収金 貸倒引当金			32,477,581
			△ 194,865	
			32,282,716	
流動資産合計				51,431,873
(固定資産) 特定資産	退職給付 引当資産	定期預金 みずほ銀行 東京都庁出張所	職員の退職金支払いの財源として 積み立てている	1,274,932
	減価償却 引当資産	定期預金 みずほ銀行 東京都庁出張所	什器備品の耐用年数が経過した 後に購入するために積み立てた 資産である	1,541,219
	財政運営資金 積立資産	定期預金 みずほ銀行 東京都庁出張所	財政運営の変化に備えて積み立 てた引当資産である	10,000,000
	特定資産合計			12,816,151
	その他固定資産	什器備品	紐かけ機、パソコン11台	什器備品の100%は公益目的保有 財産として事業に使用している
その他 固定資産合計				1,059,211
固定資産合計				13,875,362
資産合計				65,307,235
(流動負債)	未払金	支払配分金等に対する未払い 額	会員に対する配分金の支払い他	25,642,414
	前受金	前受事業収益	ビル清掃受託分	11,270
	預り金	職員に対するもの	源泉所得税、社会保険料等	1,538,898
流動負債合計				27,192,582
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに 備えた引当金	1,274,932
固定負債合計				1,274,932
負債合計				28,467,514
正味財産				36,839,721